

環境教育・環境学習の推進

～市民のライフスタイルの改革に向けた取組の推進～

【目標：環境教育・環境学習の場や機会の充実、人材育成等の基盤整備を目指す】

●夏休み環境科学教室 ―温室効果の仕組みを知ろう！実験・目で見る温暖化―●

公害研究所では、科学実験等の体験学習を通じて身近な環境問題への関心と知識を深めてもらうため、オープンラボ、環境セミナー、出前教室などを開催しています。

その中のひとつ、夏休み環境科学教室は小学4年生から中学生を対象に昭和62年度から実施し、公害研究所の公開とともにさまざまな環境学習を提供しています。

平成21年度は、8月13日に「温室効果の仕組みを知ろう！」をテーマに、温室効果について模擬実験を行い、多量の二酸化炭素が温室効果の原因になることを学びました。実験は二酸化炭素を入れたフラスコと入れないフラスコを太陽に見立てた白熱電球で暖めて、その中の温度の上昇を比較しました。20分後には二酸化炭素を入れたフラスコの温度が1℃くらい高くなりました。午前、午後あわせて60人近くの小中学生が参加しましたが、実験の面白さ、温暖化の理解ができたようでした。公害研究所ならではの体験学習でした。



●かわさき地球温暖化対策推進協議会市民部会による出前講座●



「かわさき地球温暖化対策推進協議会」の市民部会では、市内の学校等からの依頼を受け、地球温暖化に関する出前講座を毎年行っています。

平成21年度は、市内小学校6件、町内会や高齢者施設など市民向けに11件の出前講座を行いました。

子どもからお年寄りまで幅広い世代を対象に、「地球温暖化」、「省エネルギー」、「おひさまパワー」、「環境にやさしい買い物・調理」などの多様なテーマを通じて、地球温暖化問題の重要性を多くの方に実感してもらえよう、試行錯誤しながら活動しています。

●多摩川における環境学習の推進●

多摩川は、都市部を流れる豊かな自然環境を有する川です。市では、子どもたちに多摩川の持つ多様な自然環境を楽しく学んでもらうために、NPO法人や市民団体と協働して小中学校を中心とした環境学習の推進や、水辺の楽校の活動支援を行っています。

昨年度は、二ヶ領せせらぎ館を中心とした環境学習に約3,000人、大師河原水防センターでは約1,000人が参加しました。また、市内の登戸地区、等々力地区の2ヶ所にある水辺の楽校では、月1～2回の活動を通して約2,400人が多摩川の自然にふれることができました。

平成22年度には、新たに大師河原地区に市内3校目としての水辺の楽校が設立されます。今後は3校が連携して、それぞれの地域特性を活かした環境学習の推進が行えるよう、支援していきます。

